

「絶望の道から 希望の道へ」

ルカの福音書24章13-32節

1

エマオへの道、失望の道

ところで、ちょうどこの日、弟子たちのうちの二人が、エルサレムから六十スタディオン余り離れた、エマオという村に向かっていった。彼らは、これらの出来事すべてについて話し合っていた。話し合ったり論じ合ったりしているところに、イエスご自身が近づいて来て、彼らとともに歩き始められた。しかし、二人の目はさえぎられていて、イエスであることが分からなかった。

ルカ24:13-16

2

エマオへの道、失望の道

- イエス様に失望した弟子たちが自分たちの家に戻って行く道
- イエス様が一緒に歩いてくださっていた
- 目がさえぎられて分からなかった
- 目よりも確かな、信仰の目

3

エマオへの道、失望の道

- (聖書の)信仰とは信頼できる方の言葉に従うこと。
- あなたがたが新しく生まれたのは、朽ちる種からではなく朽ちない種からであり、生きた、いつまでも残る、神のことばによるのです。「人はみな草のよう。その栄えはみな草の花のようだ。草はしおれ、花は散る。しかし、主のことばは永遠に立つ」とあるからです。これが、あなたがたに福音として宣べ伝えられたことばです。

1ペテロ1:23-25

4

エマオへの道、失望の道

- さて、信仰は、望んでいることを保証し、目に見えないものを確信させるものです。昔の人たちはこの信仰によって称賛されました。信仰によって私たちは、この世界が神のことばで造られたことを悟り、その結果、見えるものが、目に見えるものからできたのではないことを悟ります。
ヘブル11:1-3
- 私たちは見えるものではなく、見えないものに目を留めます。見えるものは一時的であり、見えないものは永遠に続くからです。2コリント4:18

5

エマオへの道、失望の道

- 主を恐れることをは知識(知恵)の初め。
箴言1:6、9:10
- 心を尽くして【主】に拠り頼め。自分の悟りに頼るな。あなたの行く道すべてにおいて、主を知れ。主があなたの進む道をまっすぐにされる。
箴言3:5-6
- 【主】よ、私は知っています。人間の道はその人によるのではなく、歩むことも、その歩みを確かにすることも、人によるのではないことを。
エレミヤ10:23
- そのころ、イスラエルには王がなく、それぞれが自分の目に良いと見えることを行っていた。
士師記21:25

6

イエスは彼らに言われた。「歩きながら語り合っているその話は何のことですか。」すると、二人は暗い顔をして立ち止まった。そして、その一人クレオパという人がイエスに答えた。「エルサレムに滞在しているながら、近ごろそこで起こったことを、あなただけがご存じないのですか。」イエスが「どんなことですか」と言われると、二人は答えた。「ナザレ人イエス様のことです。この方は、神と民全体の前で、行いにもことばにも力のある預言者でした。それなのに、私たちの祭司長たちや議員たちは、この方を死刑にするために引き渡して、十字架につけてしまいました。ルカ24:17-20

7

私たちは、この方こそイスラエルを解放する方だ、と望みをかけていました。実際、そればかりではありません。そのことがあってから三日目になりますが、仲間の女たちの何人かが、私たちを驚かせました。彼女たちは朝早く墓に行きましたが、イエス様のからだが見当たらず、戻って来ました。そして、自分たちは御使いたちの幻を見た、彼らはイエス様が生きておられると告げた、彼らはイエス様です。それで、仲間の何人かが墓に行ってみたのですが、まさしく彼女たちの言ったとおりで、あの方は見当たりませんでした。」ルカ24:21-24

8

そこでイエスは彼らに言われた。「ああ、愚かな者たち。心が鈍くて、預言者たちの言ったことすべてを信じられない者たち。キリストは必ずそのような苦しみを受け、それから、その栄光に入るはずだったではありませんか。」それからイエスは、モーセやすべての預言者たちから始めて、ご自分について聖書全体に書いてあることを彼らに説き明かされた。ルカ24:25-27

9

エマオへの道、失望の道

- あなたがたは、聖書の中に永遠のいのちがあると思って、聖書を調べています。その聖書は、わたしについて証しているものです。それなのにあなたがたは、いのちを得るためにわたしのもとに来ようとはしません。ヨハネ5:39-40
- あなたがたは神の戒めを捨てて、人間の言い伝えを堅く守っているのです。...、このようにしてあなたがたは、自分たちに伝えられた言い伝えによって、神のことばを無にしています。そして、これと同じようなことを、たくさん行っているのです。」マルコ7:8, 13

10

復活が教える希望の道

- 復活(の主)は、目に見えない十字架の意味を教えてくれた。
- 「主イエスは、私たちの背きの罪のゆえに死に渡され、私たちが義と認められるために、よみがえられました。」ローマ4:25
- 呪いの十字架が赦しの十字架に 申命21:23
- 侮辱のいばらの冠は栄光の冠に
- 手足の釘の傷、脇腹の傷口は栄光の傷に
- 最低最悪の十字架がキリスト教のシンボルに

11

復活が教える希望の道

- 失望、絶望の十字架は、揺るがない希望の土台となった。
- そういわれて、子たちがみな血と肉を持っているので、イエスもまた同じように、それらのものをお持ちになりました。それは、死の力を持つ者、すなわち、悪魔をご自分の死によって滅ぼし、死の恐怖によって一生涯奴隷としてつながれていた人々を解放するためでした。ヘブル2:14-15

12

復活が教える希望の道

- 「わたしには天においても地においても、すべての**権威**が与えられています。ですから、あなたがたは行って、あらゆる国の人々を弟子としなさい。父、子、聖霊の名において彼らにバプテスマを授け、わたしがあなたがたに命じておいた、すべてのことを守るように教えなさい。見よ。わたしは**世の終わりまで、いつもあなたがたとともにいます。**」 マタイ28:18-20
- 「わたしはよみがえりです。いのちです。**わたしを信じる者は死んでも生きます。また、生きていてわたしを信じる者はみな、永遠に決して死ぬことがありません。**あなたは、このことを信じますか。」 ヨハネ11:25-26

13

彼らは目的の村の近くに来たが、イエスはもっと先まで行きそうな様子であった。彼らが、「一緒にお泊まりください。そろそろ夕刻になりますし、日もすでに傾いています」と言って強く勧めたので、イエスは彼らとともに泊まるため、中に入られた。そして彼らと食卓に着くと、イエスはパンを取って神をほめたたえ、裂いて彼らに渡された。すると彼らの目が開かれ、イエスだと分かったが、その姿は見えなくなった。二人は話し合った。「道々お話しくださる間、私たちに聖書を説き明かしてくださる間、私たちの心は内で燃えていたではないか。」 ルカ24:28-32

14

復活が教える希望の道

- (主の)食卓で目が開かれた。
- 私は主から受けたことを、あなたがたに伝えました。すなわち、主イエスは渡される夜、パンを取り、感謝の祈りをささげた後それを裂き、こう言われました。「これはあなたがたのための、わたしのからだです。**わたしを覚えて、**これを行いなさい。」食事の後、同じように杯を取って言われました。「この杯は、わたしの血による新しい契約です。飲むたびに、**わたしを覚えて、**これを行いなさい。」ですから、あなたがたは、このパンを食べ、杯を飲むたびに、**主が来られるまで主の死を告げ知らせる**のです。 1コリント11:23-26

15

復活が教える希望の道

- イエスは彼に言われた。「あなたはわたしを見たから信じたのですか。**見ないで信じる人たちは幸いです。**」、**これらのことが書かれたのは、**イエスが神の子キリストであることを、あなたがたが**信じるためであり、また信じて、イエスの名によっていのちを得るため**である。 ヨハネ20:29、31
- 私も、すべてのことを初めから綿密に調べていますから、尊敬するテオフィロ様、あなたのために順序立てて書いて差し上げるのがよいと思います。それによって、すでにお受けになった**教えが確かである**ことを、あなたによく分かっていただきたいと思います。 ルカ1:3-4

16

復活が教える希望の道

- 目はさえぎられていた。24:16
- 食卓で目が開かれた。24:31
- 「キリストは、この家の主。全ての食卓の見えざる客、全ての会話の静かな聞き手なり。」
- 「私がキリスト教を信じるのは、太陽が昇ったことを信じるのに似ている。それは**太陽が見えるからだけでなく、その太陽の光ですべてのものが見えるからだ。**」(注。太陽＝Sunサン、御子イエス＝Sonサン、昇る＝復活する。)C.S.ルイス
- “I believe in Christianity as I believe that the Sun has risen not only because I see it but because by it, I see everything else.” C.S. Lewis, *Weight of Glory*

17